

日本語・学習支援教室 2021年5月20日現在の活動状況についてのアンケート(結果)

公益財団法人横浜市国際交流協会 (YOKE)

実施目的:コロナ禍における横浜の日本語・学習支援教室の現状を把握するとともに、アンケートの結果から得た、課題や工夫を共有し教室の支援に役立てます。

実施期間:2021年5月27日～6月6日

対象: 137教室

日本語・学習支援教室データベース(横浜)掲載団体(地域日本語教室および学習支援教室)
<http://www.yoke.or.jp/jdatabase/search.html>

回収数:95教室(同じ団体が複数の教室を開催している場合があります)

回収率 69%(2021年7月15日現在)

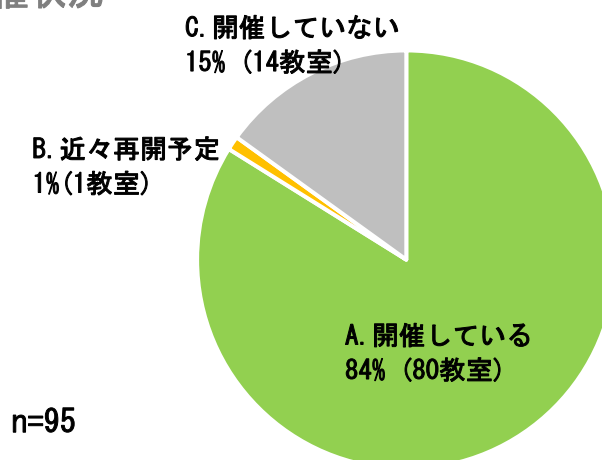
(注)回答内容は、一部抜粋または、趣旨を変えない範囲で一部表現を変更したところがあります

【質問1】開催状況

□2021年5月20日現在の教室活動状況*について教えてください

教室の開催状況*	全体		主に大人対象の教室		主に子ども対象の教室	
	教室数	割合	教室数	割合	教室数	割合
A. 開催している*	80	84%	57	80%	23	96%
B. 近々再開予定	1	1%	0	0%	1	4%
C. 開催していない	14	15%	14	20%	0	0%
合計	95		71		24	

開催状況



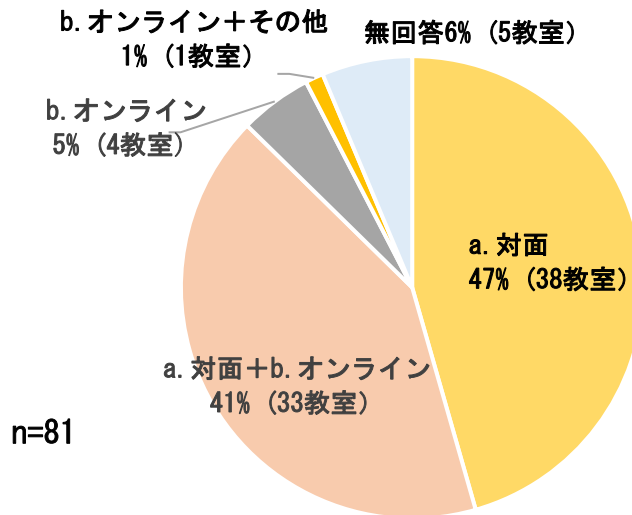
【質問2】 開催形態の工夫

□質問1で「1 開催している」「2 近々再開予定」を選択した団体の方は、どのような形で開催されますか

(1)形態

教室の開催状況*	全体		主に大人対象の教室		主に子ども対象の教室	
	教室数	割合	教室数	割合	教室数	割合
a. 対面	38	47%	24	42%	14	58%
a.対面+b.オンライン	33	41%	26	46%	7	29%
b.オンライン	4	5%	4	7%	0	0%
b.オンライン+その他	1	1%	1	2%	0	0%
無回答	5	6%	2	3%	3	13%
合計	81		57		24	

教室の開催形態



(2)対面での工夫

□質問2について詳しく教えてください。(方法・内容及びメリット・デメリット等)

＜会場について＞

- 会場の閉館時間変更により、開催時間を早めている
- 終了時間を早めて清掃している
- 施設側の感染対策に合わせている
- 部屋数を増やしている
- 定員の半数以下に人数制限している

<物品等の導入>

- 検温、消毒、マスクの着用を必須としている
- パーテーションの使用
- 換気に気を付けている
- ボランティアのフェイスシールド着用
- 授業の途中で一度換気、消毒タイムを設けている

<開催形態の工夫>

- 少人数グループ(個別)で対応している
- マンツーマン指導にしている
- 各ボランティアの対応人数を3名までとしている
- 学習者の希望により、オンラインと対面で対応している
- 完全予約制
- 事前に使用プリントをメールや郵便で送る
- 緊急事態宣言下はオンラインのみ
- 学習時間を短くしている

<メリット>

- コミュニケーションがとりやすい
- 学習者の顔、反応を見ながら授業できる

<デメリット>

- 感染リスク
- 周囲の騒音が会話の妨げとなることがある
- 夏は汗やフェースシールドの曇りが気になる
- 消毒や後片づけに手間がかかる
- 時間短縮により、教案の作り直しが大変

(3)オンライン活動での工夫(方法・内容・メリットデメリット等)

<利用システムと開催形態>

- Zoom/LINE/Skype/Whereby を利用して、1対1～3名対応で実施
- メールによる作文添削
- ラウンジの Zoom、もしくは個人の Zoom アカウントでの開催
- 海外在住者のみオンライン対応している
- 対面に抵抗がある学習者やボランティアは、オンラインで実施
- オンラインでの学習者、ボランティアの人数について月毎に報告をお願いしている

<教材の工夫>

- ・学習者にオンライン教材(いろいろ)を紹介
- ・教材は写真を撮ってラインで送信したり、WEB教材を使ったりする場合がある
- ・学習者は自身でボランティア指定のテキストを用意

<オンライン開催のメリット>

感染の危険・移動時間・教室予約調整がないこと
教室の開始時間(対面)に間に合わない人も参加できるようになった
遠くの人とつながることができる

<オンライン開催のデメリット>

発音が聞き取りにくい
双方の声が通るように話すためパワーが必要
会話のテンポがずれる
オンラインに馴染めず、対面を希望する学習者がいる

【質問 3】 開催していない状況

- 「3 開催していない」を選択した団体の方は、理由や代わりにされている工夫などありましたらご記入ください。
複数のボランティアがオンライン、メールで個別に学習者と連絡を取っている
母語(タイ語)教室のみオンラインで開催
コロナワクチン接種会場として使用されているため、終わり次第再開予定
教室がある 神奈川あーすぶらざ が閉館して使用できないため
ロシアからの来訪者がいないため、ロシア語を母国語とする日本語学習希望者が集まらない
ワクチン接種後の開催の方が安心して開催できるため

【質問 4】その他

- 共有したい情報や知りたいことなど(一部の意見を抜粋して反映しています)

<共有したい情報>

コロナ収束後、教室はどのような形態になっていくか

<知りたいこと>

学校や行政との連携について知りたい

基本的な ZOOM 操作は覚えたので、さらにもう一步踏み込んだ ZOOM 操作が知りたい

他団体の受け入れ状況(自団体が対応できない場合紹介してよいか)